

令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立両城小学校
(両城中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画(指標)	+6.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	—	—	—
令和4年度	-0.6	+1.8	+5.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 <u>65%</u> 全国 <u>65.6%</u> 県 <u>67%</u></p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 我が国の言語文化</p>	<p>重点課題</p> <p>◎文章全体の構成や展開に着目して文章のよいところを見付けることに課題がある。 ◎複数の文章を関連付けて読み取ることに課題がある。 (設問3二)【書くこと】(平均正答率30.8%) ◇文学的な文章や詩に用いられている表現の技法や感じを正しく理解することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎自分の考えをまとめる際に複数の情報を比較や分類・関連付けをして検討してまとめるようにさせる。 ◎文章全体の構成や表現のよさを読み取り、文章に対する感想や意見を伝え合う活動の際には視点を与える。 ◇適切に漢字や技法を用いて表現する場を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問3二 第5・6学年, 2月)目標5年50%, 6年80% 類似問題(標準学力)(第3~6年, 12月)目標60% ◇標準学力調査(全学年, 12月)全国平均との差 目標+5.0</p>
<p>算数</p> <p>本校 <u>65%</u> 全国 <u>63.2%</u> 県 <u>64%</u></p> <p>数と計算 図形 変化と関係 データの活用</p>	<p>重点課題</p> <p>◎百分率で表された割合と基準量から比較量を求めることに課題がある。 (設問2(2))【変化と関係】(平均正答率41.2%) ◎数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。 (設問2(3))【変化と関係】(平均正答率5.9%) ◇図やグラフから、特徴や量をよみ取ることに課題がある。百分率で表された割合と基準量から比較量を求めることに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎文から図、また図から式に表し、その数字の意味や式の意味について単位を付けて説明を書いたり話したりする場面を設ける。 ◎全体を1とした場合の割合と百分率で表された割合の関係や、数量と割合の違いを押さえて、割合の意味を理解させる。 ◇日常の具体的な場面に対応させたり、図や式などを用いて数量関係を表したりする活動を通して、力を身に付けさせる。</p> <p>検証</p> <p>◎標準学力調査(テープ図・線分図を用いて考える問題)(全学年12月)目標70% 全国学力2(2)(3)(第5学年 2月)目標70% ◇標準学力調査(全学年, 12月)全国平均との差 目標+5.0</p>
<p>理科</p> <p>本校 <u>69%</u> 全国 <u>63.3%</u> 県 <u>66%</u></p> <p>エネルギー 粒子 地球 生命</p>	<p>重点課題</p> <p>◎自分の予想と結果をもとに、自分の考えを見直すことに課題がある。 ◎問われていることに対する答えを出していないという課題がある。 ◎予想や実験方法、実験結果、考察等、多くの情報からそれぞれの情報を関連付けることに課題がある。 (設問2(3))平均正答率38.5% (設問3(1))平均正答率38.5% ◇観察や実験などで得た結果をもとに、分析したり自分の予想を見直したりすることに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎「どうしてそうなるのか」「どうやって解決するのか」という課題意識、目的意識をもたせた実験・観察等により、主体的に問題解決を行わせる。 ◎◇予想→実験→結果→考察という学習の過程を大切にす。実験前の予想と結果を比較・検討させ、自分の考えを見直させる。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問1, 3 第3学年2月)(設問1, 3, 4 第4学年2月) (全問 第5学年2月) 目標70% ◇2学期単元末テスト「思考力・判断力・表現力」の平均(3~5年, 12月)目標80%</p>

【来年度に向けて】